

ラストステイ処理

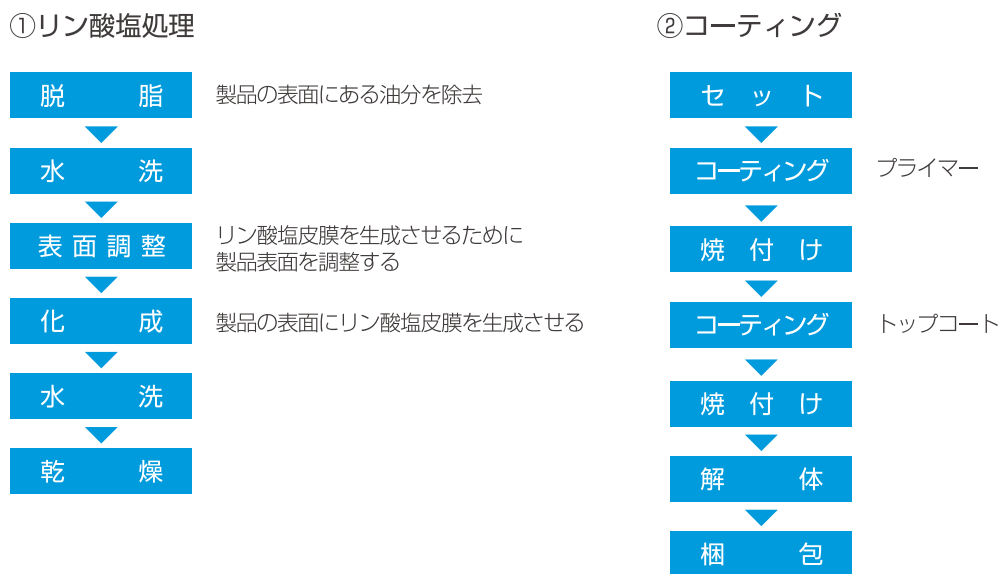
ラストステイ処理は、リン酸塩皮膜処理を行った後にステンレスフレーク配合のエポキシ樹脂被膜を形成させることにより、防錆性能を向上させる高耐食表面処理です。

1 特徴

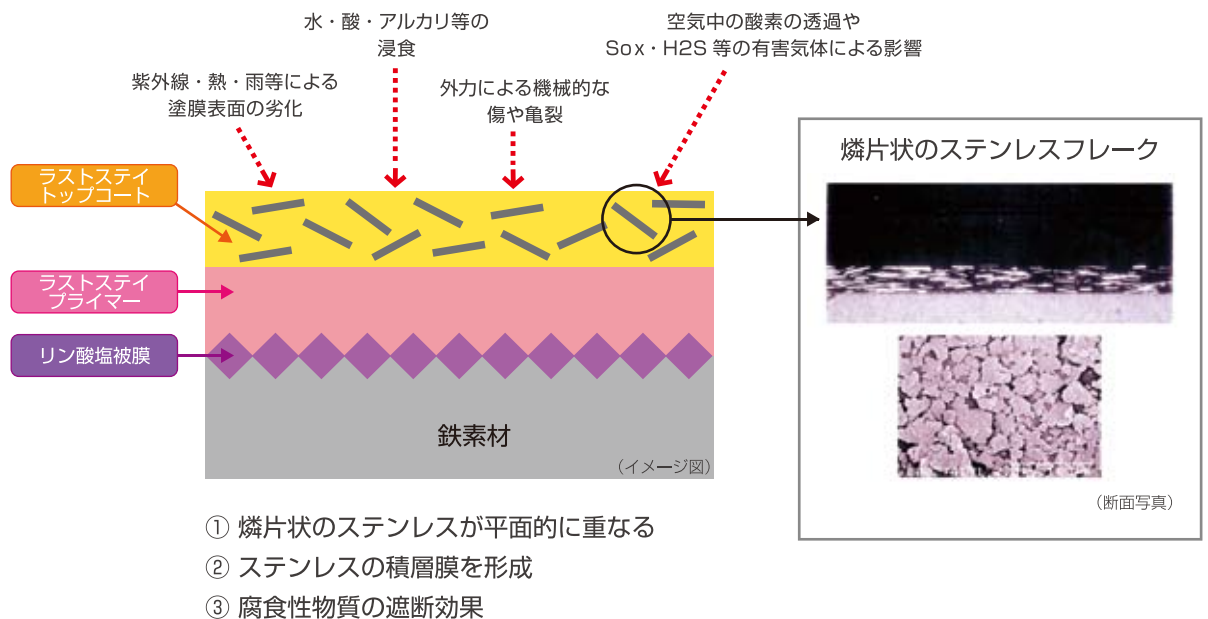
リン酸塩皮膜と特殊エポキシ樹脂系被膜により、防錆性・高耐食性能を飛躍的に向上させます。この処理は、塩害など過酷な腐食環境下でも腐食を抑制する高耐食性表面処理です。

2 処理方法

リン酸塩皮膜処理+特殊エポキシ系樹脂コーティング（プライマー+トップコート）



3 メカニズム



4 性能試験

試験条件

材 質：SPCC

仕 様：(化成処理) リン酸亜鉛処理

3~10 μm

(プライマー) エポキシ系プライマー

10~15 μm

180℃×20分焼付

(トップコート) SUS フレーク入りフッ素系コーティング剤

15~20 μm

180℃×20分焼付

項目	性能	備考
基盤目試験	100/100	JIS K 5400-1990
鉛筆硬度	7H~8H	JIS K 5400-1990
締め付け特性	0.10~0.14	軸力 (kg f) 10,900
耐屈曲性	異常なし	心棒の直径4mm
塩水噴霧試験	3,000 時間 異常なし	二次密着性 100/100
促進耐候性	2,000 時間 色差 ΔE_{ab5} 以内	デューサイクル耐候性試験
耐塩水性	1,000 時間 異常なし	3% 塩水 45℃
耐酸性	720 時間 異常なし	3% 室温
耐アルカリ性	4,000 時間 異常なし	20% カセイソーダ 20℃
亜硫酸ガス試験	30 サイクル 異常なし	21·H ₂ O+21·SO ₂

(処理後各部品)

